JATMA 一般社団法人 日本自動車タイヤ協会
タイヤ安全ニュース No.72
平成24年3月発行

タイヤのクラック（ヒビ割れ）ここまで来たら要注意

タイヤは、様々な材料からできたゴム製品です。
ゴムの特性は時間が経過するとともに劣化しますので、クラック（ヒビ割れ）が発生する場合があります。
以下の判断基準を参考に、クラックのレベルに応じた対応をお願いします。

クラックの発生レベル

小 ← → 大

継続使用可能

継続使用可能（要経過観察）

要注意

判断基準　クラックがタイヤ内部のコードに達しない限り継続使用は可能です。

継続使用して問題ありません。

継続使用可能です。クラックの進展状況を日常点検で確認ください。

クラックがタイヤ内部のコードに達している場合は

交換が必要です。

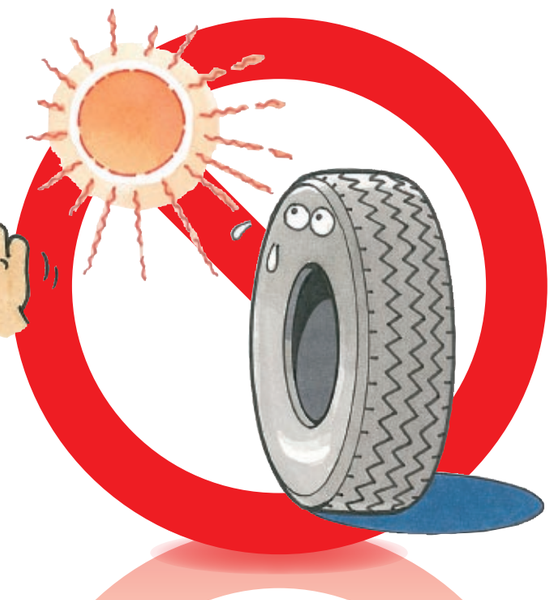
判断に困った場合は、販売店にご相談ください。

クラック促進要因

ゴムは、下記の要因で疲労・劣化が促進され、クラックが発生・成長します。

空気圧不足または過負荷での使用

過度な洗車、有害な影響を及ぼすつや出し剤塗布



オゾン・紫外線の多い場所での使用・保管

あまり車を使用しない場合